

令和6年度 足立区区民評価委員会 第1回全体会

今年度の 区民評価活動



令和6年4月25日

政策経営部 政策経営課・財政課

知ると分かる。すると変わる。



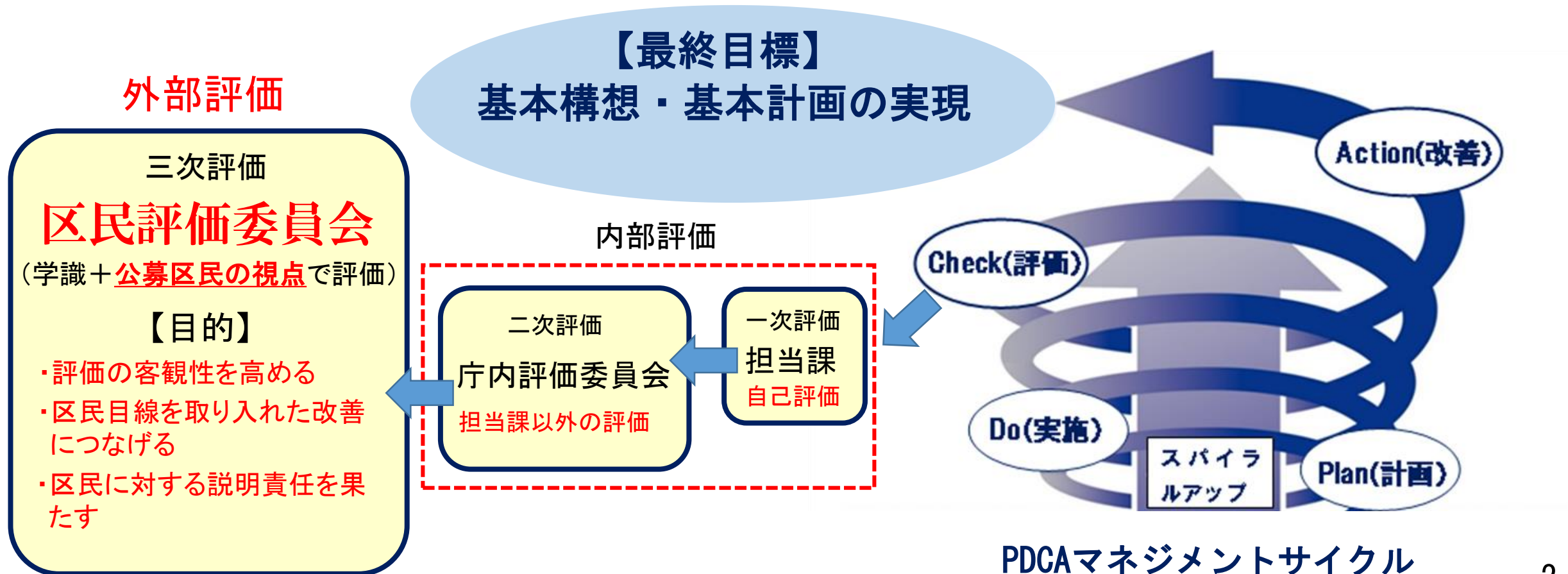
SDGs MODEL ADACHI

足立区区民評価委員会について

足立区の行政評価のねらい

- 1** 区民に対する説明責任を果たし、協働・協創の基礎をつくる
- 2** より一層、成果重視の区政をめざし、重点プロジェクトを中心とした基本計画の進行管理を行う
- 3** PDCAのマネジメントサイクルを確立し、戦略的な区政経営を行う
- 4** 職員の意識改革を進め、政策形成能力を高める

足立区区民評価委員会について



足立区区民評価委員会の1年



行政評価制度のさらなる推進

1 区民評価ヒアリングの充実

- 01 ヒアリング時間の拡大【継続】
- 02 区民評価対象事業数と一部事業の入替【変更】

2 新たな取組み

- 03 ヒアリングにおけるコミュニケーションの活性化
- 04 現場視察の実施

ヒアリング時間の拡大【継続】

R5試行実施→R6も継続

R5から

ヒアリング時間 1事業あたり60分

- 所管課のプレゼンテーション 10分
- 質疑応答 30～35分
- 委員同士の振り返り・記録 15～20分



◆ 改善されたこと

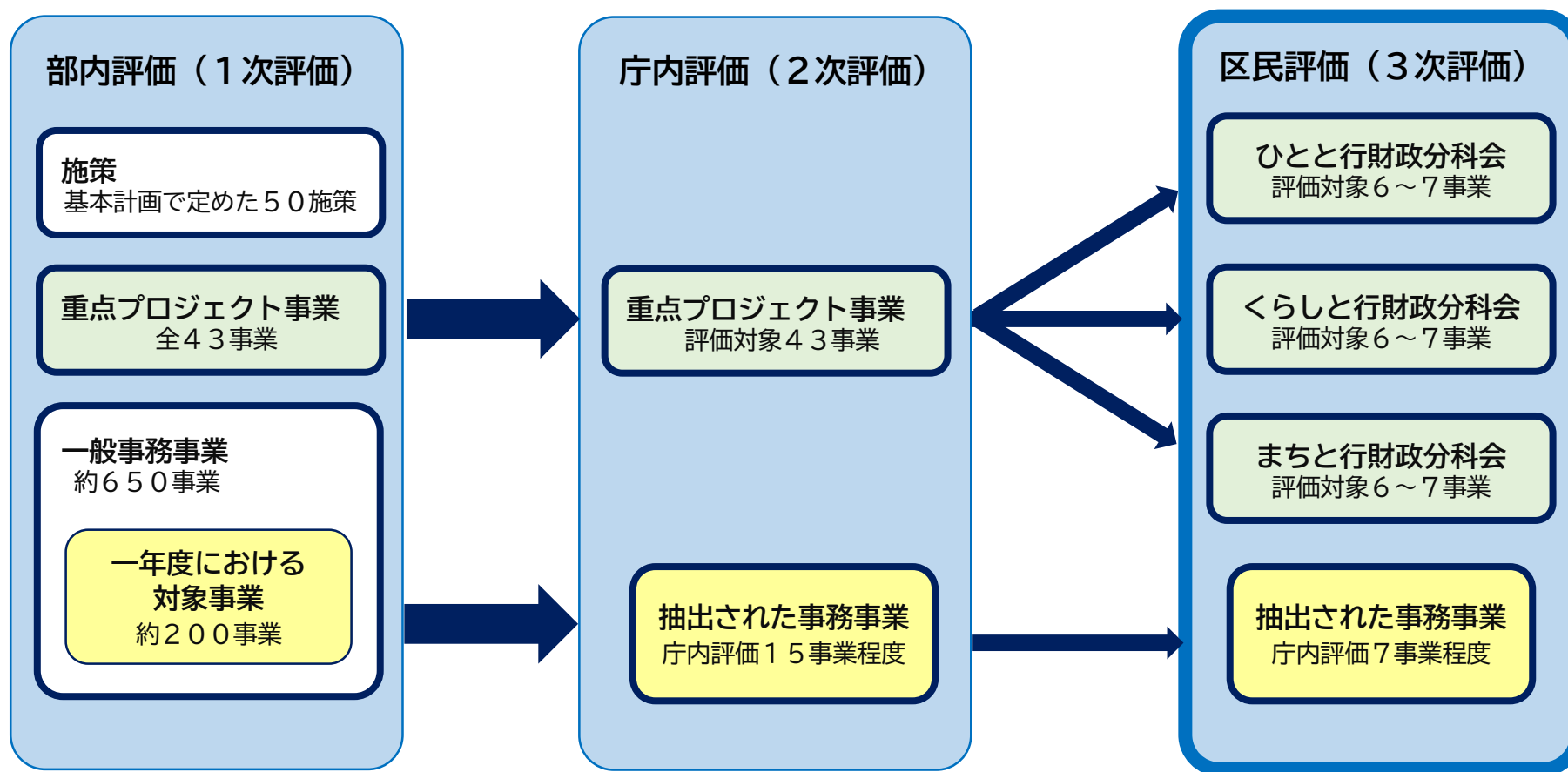
- 事業の説明を十分に行うことができた。
- 質疑応答の時間を有効活用し、現場の生の声を引き出し、事業の深堀ができた。

◆ 新たな課題

- 各所管課の「事業をわかりやすく伝える」説明力にばらつきが顕在化



区民評価 対象事業数

区民評価委員会に 諮問する事業



区民評価 対象事業の一部入替

区民評価対象とする事業の選定基準

-  「足立区基本計画」「行財政運営方針」「予算のあらまし」等で 区が特に注力することとした事業
-  事務や予算の執行において、課題や改善すべき事項が より明確な事業

区としての考え方

- ◆ 重点プロジェクト事業は、経年で事業評価することで、前年度の区民評価結果を踏まえて事業の改善がなされたかの検証をしていただきたい
- ◆ これに合わせて、委員会からのご意見を踏まえ、評価対象事業の一部入替を行いたい

入替例 事業の効果が認められ、評価の高い事業
区民評価がなくとも、区民ニーズに沿った事業改善が期待できる事業

ヒアリングにおけるコミュニケーションの活性化

区民の皆さんにわかりやすく事業を伝えるため、庁内に向けた啓発を行っています

R5

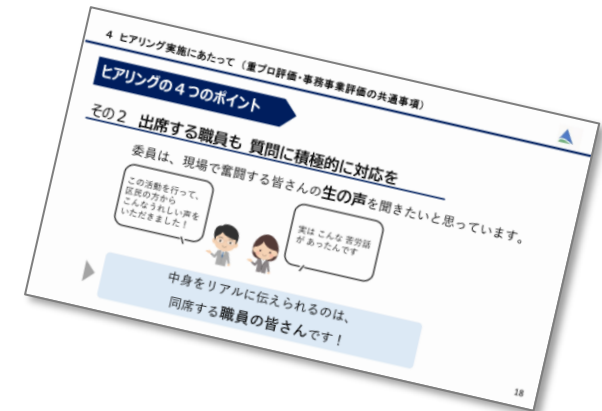
職員向け「行政評価報告会」（動画研修を実施）

➡「区民にわかりやすく伝えるためのヒント」をテーマに作成

R6

各部行政評価推進員対象「事前説明会」を実施

➡ ヒアリングのポイントを周知



現場を知る職員の“生の声”を届けられるよう、事務局がサポートします

視察の実施

R6に試行的に実施します

- ◆ 各分科会で 1 事業ずつの実施を想定
- ◆ 各分科会の希望を踏まえ、ヒアリング・評価作業期間中（6月下旬から7月末まで）で日程確保